



2021年3月12日

各 位

会社名 株式会社オハラ
代表者名 代表取締役社長執行役員 齋藤 弘和
(コード番号 5218 東証第1部)
問合せ先 取締役専務執行役員 中島 隆
(TEL 042 (772) 2101 (代表))

第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年12月15日に公表いたしました2021年10月期(2020年11月1日～2021年10月31日)の、第2四半期累計期間連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年10月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正 (2020年11月1日～2021年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,400	百万円 0	百万円 100	百万円 100	円銭 4.11
今回修正予想 (B)	10,000	100	200	100	4.11
増減 (B - A)	600	100	100	—	—
増減率 (%)	6.4	—	100.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年10月期第2四半期)	9,444	△1,000	△897	△1,134	△46.63

2. 業績予想の修正理由

売上高につきましては、光事業において、前期は新型コロナウイルス感染症の影響により需要が急激に減少しましたが、当期間では緩やかな持ち直しが見られることから、前回予想を上回る見込みとなりました。また、損益面につきましても、第1四半期の業績及び足元の状況を踏まえ、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、エレクトロニクス事業において、スマートフォン向け耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス「ナノセラム™」について、量産に向けた実機試験を行っておりましたが、一部のテスト項目で想定していた結果が得られず、先方と対応策を協議しているため、販売時期のずれ込みが見込まれます。一方、光事業、およびエレクトロニクス事業の半導体露光装置、FPD露光装置向けの需要は堅調であることから、セグメント別の増減はあるものの、連結全体では、2020年12月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上